



最上町立大堀小学校
学校だより R8 第6号
令和8年9月 30 日 校長室
大堀小学校
ホームページ



大堀秋まつりで、学校から地域に元気を届ける



大堀秋まつりが、9月12日（前夜祭）、13日（本まつり）に行われました。大堀小学校では、本まつりの山車引き、お囃子、鼓笛発表、踊り発表に全校で学校行事として参加しました。大堀小学校前・鈴木工務店前・大堀駅前前の3ヶ所で、練習を重ねてきた鼓笛演奏（上学年）と大堀小音頭の踊り（下学年）を披露しました。鈴木工務店前から大堀駅前まで、子どもたちは2台の山車に分かれ、お囃子の演奏に合わせて元気なかけ声とともに大堀駅前まで山車を引きました。

子どもたちが、まつりを見るだけでなく地域の一員（当事者）として山車引きなどに参加することは、ふるさとを愛する心を育む上でとても大切です。お囃子に参加した子どもが演奏する音色や山車引きでの子どもたちの元気なかけ声が、地域に元気を届けてくれたと思います。

まつり前の9月上旬、休み時間の音楽室で鼓笛の楽器練習をする6年生の姿がありました。その6年生に熱い視線を送る1年生が数人いました。1年生に話を聞いてみると「自分も6年生になったら鼓笛の楽器を弾いてみたい。6年生みたいになりたい。」と瞳を輝かせて話してくれました。鼓笛発表は、「高学年が下級生の憧れの存在になる」活動であることを実感しました。

これからも「地域とともに歩む」学校として、子どもたちが地域について学んだり、地域の方と交流したりする活動を通して、ふるさとを愛する心を育んでいきます。



科学の不思議 わくわく科学教室

9月18日（金）に、最上広域市町村圏事務組合教育研究センターの方を講師に、わくわく科学教室を行いました。子どもたちは、空気の重さや流れについて講師の方が実験する様子を見たり、参加したりして、楽しく科学について学びました。

わくわく科学教室は、子どもたちの科学に対する興味関心を高めるよい学びの場となりました。第7次山形県教育振興計画の取り組みの中に「探究（「なんで？」を大切に）」があります。日常生活の中の自然や科学的現象に疑問（なんで？）を持ち、授業や家庭学習で探究する子どもを目指していきたいと思います。



新しい取り組みを始めました

9月から次の新しい取り組みを始めました。

① 毎週木曜日の朝学習（8：10～8：20）で、漢字や計算の小テストを実施

基礎基本の定着と家庭学習に計画的に取り組む習慣づくりを目指し、全学年で実施することになりました。テスト範囲は、各担任から学級だよりで事前にお知らせすることになっていますので、ご確認ください。

② 体を動かして遊ぶ環境づくり

天候に影響されず、休み時間に気軽に体を動かして遊べる環境を少しずつ整えています。9月は2階水屋付近の空いたスペースにカラー軍手を吊るし、ジャンプして遊べるようにしました。子どもたちの様子を見ながら、今後も体を動かして遊べる工夫を増やしていく予定です。



< 10月の主な予定 > ※ 下校時刻については、下校時刻表等で確認してください。

1日（木）いのちの日 町芸術鑑賞教室	5日（月）持久走記録会	6日（火）八森大学
7日（水）読み聞かせ	9日（金）1年校外学習	
17日（土）風っ子発表会 県PTA研修大会	19日（月）振替休業日（17日分）	
20日（火）イワナ放流	22日（木）保小連携会議	
23日（金）祖父母地域授業参観日 祖父母地域家庭教育講演会	地域写真展開始 職員会議	
28日（水）読み聞かせ	29日（木）～30日（金）6年生修学旅行	

